令和8年度　やまばと園共同生活援助地域連携推進会議

実施日時	令和8年9月29日（水） 15時30分～16時00分	司会者・記録者	司会者：支援課長 記録者：支援課係長	出席者	構成員：利用者代表、保護者代表、福祉関係者（3名）、地域関係者 管理者：園長 支援課：課長、支援係長（2名）、専門員

次第	1．次第
	①園長挨拶
	②出席者紹介
	③会議議題
	1)やまばと園事業計画等について
	2）事業及び地域との連携について
	3）利用者の権利擁護について
	2．質疑応答
	地域連携推進委員からの意見、助言
	※会議に先立ち13時20分からグループホーム見学をおこなった。

次第

① 園長挨拶

やまばと園地域連携推進会議の推進員の皆様におかれましては、平素より多大なご理解とご協力を賜り、また本日はご足労いただき誠にありがとうございます。

当会議は令和6年度の報酬改定を受け、令和7年度より義務化となったところですが、当施設としては令和6年度の努力義務年度も含め、3回目の開催となります。目的としましては、

○利用者と地域とのつながりを強める。

○地域の人への施設等や利用者に関する理解を広げる。

○外部の視点で運営を見える化する。

○支援の質と権利擁護を高める。

などが狙いとなりますので、推進員の皆様にはいろんな側面から忌憚のないご意見、ご助言をいただき、今後の運営に反映させていただければと思いますので、本日は、よろしくお願いいたします。

② 出席者紹介

会議出席者が各々自己紹介を行った。

③会議議題

1）やまばと園事業計画等について

①令和8年度事業計画について　資料ー1

②利用状況について　資料ー2

③職員の状況について　資料ー3

④運営状況について　資料4－①、②

⑤ＢＣＰについて　資料ー5

※資料に添い園長が説明する。

2）生活支援及び地域との関わりについて

※共同生活援助担当職員　専門員より、事業所の一日の流れ、休日の過ごし方、地域行事への参加状況、地域配布の広報誌の発行及び法人主催の同職種研修の状況について説明する。

3）利用者の権利擁護について

・虐待防止について　資料ー7

・満足度調査　資料ー8－①、②、③

・苦情解決

口頭で、令和7年度苦情受付状況について2件を説明した。

・ヒヤリハットについて　資料ー9

※資料に添い支援課長が説明する。

2，質疑応答

・地域連携推進委員からの質問・助言・等

福祉関係者A氏～同職種（世話人等）の研修を法人で行っているのは良いことだと思う。

同じ職種でしか分からない苦労もあると思うので、職員の悩みを話せる機会があるのはいい。

地域関係者～地域の人たちに知ってもらうことが大事だと思う。色々な地域行事に参加してもらえるよう取り計らっていく。グループホームのある杉沢地区では、自主防災組織を設置している。

今後組織の会長と相談しながら、グループホーム入居者の避難経路を示したいと考えている。

保護者代表～入居者の家族代表として地域の人たちや職員の支援に支えられ、ありがたく思っている。

入居者同士や地域の人たちと仲良く暮らしていけるよう願っている。

福祉関係者B氏～圏域のモデルとなり得る事業所だと感じた。地域の中でも立地条件等恵まれた
ところにあるので、今後は利用者の自発的な外出にもチャレンジしてほしい。

福祉関係者C氏～高齢となっても住み慣れた場所で生活することが理想である。そのためには、
あいさつ等マナーが重要となる。地域との繋がりを持つためには、地域行事等イベントの手伝い
ルールの遵守が経験上とても有効である。

利用者代表～地域生活はとても楽しい。

以上